

「平成26年度 気になる子どもの保育研修会」

【期 日】 平成26年 11月14日 (金)

【会 場】 ロイヤルチェスター佐賀

【主 催】 佐賀県保育会

【参加者】 89名

【内 容】 研修 10:05~12:00



講義1、気になる・・・の整理 ～児童記録表の活用～

講師： 河野 洋子 (元佐賀整肢学園総合相談室長)

(ピアカウンセラー、発達アドバイザー)

・児童記録票の書き方・ポイント

*この票でこの子の全ての成長記録がわかるように。

*基本的な生活の気付きを書く。

記入例、「タオルは毎日同じもの」「紙おむつを替えてこない」など。

偏りなどを記入する、「〇〇しか食べない」など。

自立を書く。出来ていない場合は内容、姿を記入する。

「何もないのに押す叩く」「クラスから飛び出す」など記入する。

記入例「言葉で支持が通らない」「アイコンタクトがとれない」見つめられない。

良き点を見る、気付く。気になる子は才能を持っている、才能が開花する手助けになるように。 **大事!!**

在胎週は大事です。未熟児、新生児病棟にいたか、成長に支障が伴うときがある。医療にかかわる時、就学前に大事。フェノールケトン尿症=知的・病的なところが見えてくる。

園で保護者が話される内容が、キーポイントになり、助言ができる。(例)「祖父母、母の仲が悪い」「家では活発」など記入する。

出来る、出来ない。(例)「ボタン掛けができる」「衣服がたためる」など記入する。

(例)「3歳児本を破ってしまう、見れない」「折り紙が合わせて折れないなど」手は第2の脳、知的バロメーターである。

(例)「シールの貼り方にこだわる」「抱っこされるのを嫌がる」「毛布、タオルはきまっただものしかいけない」など記入する。

(例)「クラスの子と同じ行動がとれない」「1番でないといけない」
関わり方で改善できたことを記入する。

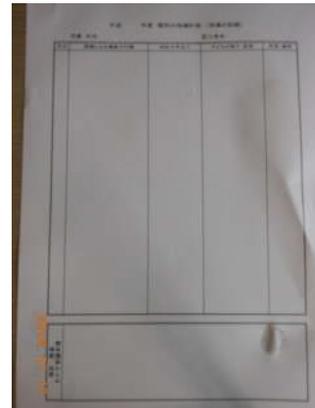
家族関係の中で発達のゆがみが見えてくる。
支援をする人材も見えてくる。
家系図を記入する。

離婚した。
定期的に合うなども記入する。

クレームを言う、診断名がとれていないなどを記入する。

訪問者の先生から助言があったら記載する。
専門の先生、施設から言われたことを記載する。

- ・ 児童記録票に記入すると共に、個別の指導計画をつけていくとよい。
(※感情や感想を書かないようにする)



講義2、早期発見のためにできること 遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表の説明

- ・ 実際に遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表に気になる子をあげてみて記入をする。
- ・ 暦年齢（実年齢）を基準に出来るところのひとつ下のところにチェックを入れる。
(だいたいよい)
- ・ 付け終わったら、左側のグラフに記入して、折れ線グラフにする。
- ・ 牧野桂一先生の発達チェックシートを合わせて参考にするのも良い。

- ・遠城寺式・乳幼児分析票をつけたら、六角形表に付けて、バランスを見る。
- ・実年齢の線を引いた後に、遠城寺式でチェックした発達をつけ線を引く。
(バランスが悪いところの発達の手段を考えていく。～保護者説明～)

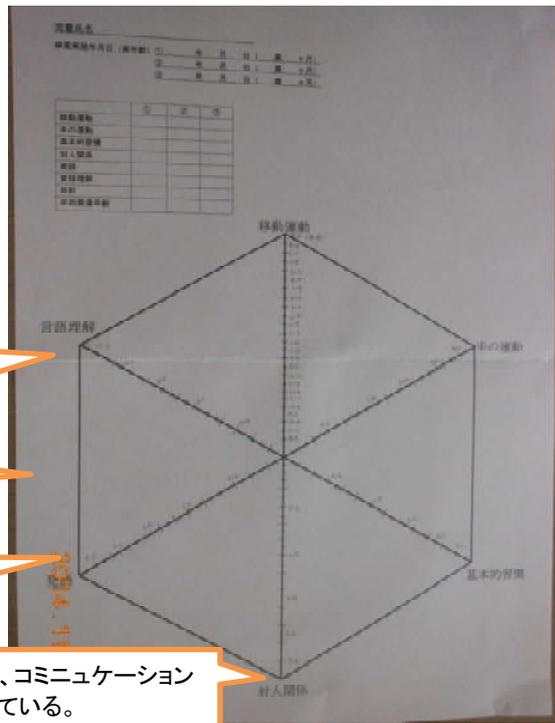
- * 移動運動
- * 手の運動
- * 基本的習慣
- * 対人関係
- * 発語
- * 言語理解

言語理解が低いとゼスチャーを入れる。絵カードもあり。

左側が低いと広汎性発達障害の傾向にあり。

発語が低ければ、クラスの子と同じ言葉がけではだめ適切な言葉がけ、2, 3回伝える。

対人関係が低いと、コミュニケーションがとれなくてこまっている。



- ・この票は、保護者説明をするために作成された。また、保護者に説明をしやすくなる。ありのままの状況を受け止めやすく、発達の緩やかさを伝えていくことができる。トラブル言葉を選んで票を見ながら園側が2, 3人で共通理解をして説明をしていく。また母親、保育士が別につけると、認識の度合いが違ってくることが見えてくる。

休憩 12:00～13:00

講義3、遠城寺式・乳児分析的7発達検査表の活用

13:00～14:10

- ・5人グループで討議
 - ・自己紹介
 - ①発表する人 ②主任役 ③④⑤聞く人

講義4、保育所のカウンセリング機能の充実（受容までの心理的経過） カウンセリング演習

- ・10人のグループで討議



☆カウンセリングとは…心に新しいエネルギーを呼び込むための会話
”たった一言でも幸せになれる、目だけでも幸せになれる”

☆自分自身のあるがまを受け入れ肯定すること

- 1、マイナスをプラスに
- 2、欠点を長所に
- 3、自分自身を花まるに
- 4、他人との違いは個性

☆素敵なカウンセラーになるために

”自分の考え、体験は押し付けない。NGは言わない” 内面に入った褒め方をする。

☆カウンセリングとは…心に新しいエネルギーを呼び込むための会話

- ・相手の悩みやストレスに寄り添う旅の道ずれ
- ・自分自身の長所を生かし相手に勇気と希望を贈ること
- ・励ましの実践は相手の幸せを願う気持ちを言葉で伝え相手に伝えながら、自分の生きている価値を創造する作業

◎「私を育ててくれた、子どもたち」から先生の話が始まりました。答えは子どもたちそのものの中に、子どもたちを解き明かすとわかってくるような気がしました。私たちは絶えず、専門性を勉強して、人の基本づくりの重要な位置の子育てに関わっていることに再自覚して、スキルアップしていかなければいけないと強く思いました。

(文責：吉田保育園 古川綾子)